

# 第1学年〇組 外国語科学習指導案

日 時：令和7年〇月〇日（〇）第〇校時

場 所：1年〇組 教室

授業者：〇〇 〇〇

A L T：〇〇〇〇 〇〇〇

## 1 単元名 NEW HORIZON English Course 1 Unit 7 Winter Vacation

## 2 単元について

### (1) 教材観

本単元では、冬休みの思い出を題材とする。他国の登場人物の日記や会話を扱う中で日本文化を相対的に捉え、再認識させることをねらいの一つとする。

言語材料としては、一般動詞の過去形を扱う。規則動詞と不規則動詞の区別、否定文や疑問文とその応答などの文法を学習する。その知識を使い過去の事実を描写したり、自分の経験について書いたりする活動を通して、実際のコミュニケーションに活用できる技能を身につけさせたい。

単元末には、過去について書かれた文章から学んだことを生かし、自分の生い立ちや経験をALTに発信する言語活動を行う。その過程で、事実や自分の考え・気持ちを整理し、簡単な語句を用いてわかりやすくまとまりのある文章を書く力を養う。

### (2) 生徒観

本年度5月に実施した埼玉県学力・学習状況調査の結果では、概ね県平均をやや上回る学力があることが読み取れる。(表)

(表)

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率		
			埼玉県	市町村教育委員会	貴校
教科の領域等	聞くこと	10	73.6		
	読むこと	15	59.4		
	話すこと[発表、やり取り]	2	18.5		
	書くこと	9	55.7		
評価の観点	知識・技能	23	66.5		
	思考・判断・表現	13	49.0		
	主体的に学習に取り組む態度	0	-		
教科の領域等	聞くこと	10	55.8		
	読むこと	19	57.2		
	話すこと[発表、やり取り]	2	12.5		
	書くこと	5	37.0		
評価の観点	知識・技能	24	60.4		
	思考・判断・表現	12	33.7		
	主体的に学習に取り組む態度	0	-		

本校独自のアンケートでは、「英語がとても好き」または「好き」と答えた生徒が約62%、「授業や活動が楽しい」と答えた生徒が約87%、「将来のために英語を身につけたい」と答えた生徒が約95%と高い割合を示した。これらが県学力調査結果に影響したと考えられる。

一方で、第1学年の取組を見ると、自分の考えを伝えようとする意欲はあるものの、語彙や文法事項を正しく理解して書くことに課題があり、まとまった文章を書くことに苦手意識を持つ生徒が多い。

### (3) 指導観

調査結果を踏まえ、書く活動を通して考えを形成したり、班で共有しながら推敲する活動を单元内に意図的に組み込む。

指導では、生徒同士のやり取りを通して内容を膨らませ、言語面と内容面の両方を共有する活動を展開する。その中で、動詞の過去形や使用場面を理解させ、現在形との違いも確認する。

また、生徒は英語への関心や意欲が高く、互いに助け合いながら最後まで取り組む姿が見られる。その良さを生かし、グループワークやペア活動を通して学び合い、教科書本文をしっかり読み取ったり、モデルとして文章構成を考えさせたい。

## 3 研究課題との関わり

### (1) 研究課題

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

### (2) 研究の視点

主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり  
～外国語科の「見方・考え方」を働かせた学習活動の充実～

### (3) 研究課題解決のための仮説と手立て

#### 仮説Ⅰ

グループ活動を通して、他者とのやり取りをすることで、学びが深まるだろう。

手立て① 個での時間を十分に確保したうえで、集団で学ぶ時間を取る

手立て② グループでの活動の中で、良い表現等を教員の視点を持って引き出していく

## 4 単元の目標

ALTに自分のことを知ってもらうために、自分の生い立ちや経験について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

- 一般動詞の過去形の肯定文のきまりを理解し、自分の生い立ちや経験などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理して書く技能を身に付けている。 <知識及び技能>
- ALTに自分のことを知ってもらうために、自分の生い立ちや経験について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句を用いてまとまりのある文章を書いている。 <思考力・判断力・表現力等>
- ALTに自分のことを知ってもらうために、自分の生い立ちや経験について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。

<学びに向かう力、人間性等>

## 5 単元の評価規準

(本单元における「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り・発表]」については、目標に向けての指導は行うが、本单元内で記録に残す評価は行わない。)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと (書)	<p>&lt;知識&gt;</p> <p>① 一般動詞の過去形の肯定文のきまりを理解している。</p> <p>&lt;技能&gt;</p> <p>② 自分の過去などについて、事実や自分の考え、当時の気持ちなどを整理して書く技能を身につけている。</p>	<p>ALTに自分のことを知ってもらうために、自分の生い立ちや経験について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句を用いてまとまりのある文章を書いている。</p>	<p>ALTに自分のことを知ってもらうために、自分の生い立ちや経験について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。</p>

6. 単元計画 (全7時間)

時	◆ねらい ○活動	評 価			
		知・技	思・判・表	態	◎評価規準 <評価方法>
1	◆単元の目標を理解するとともにALTに紹介したい自分の生い立ちについて、構成を考えて事実を書く。				
	○ALTが紹介した内容についてのやり取りをし、単元ゴールの活動に興味や関心を持つ。 ○文の構成を考える。				
2 ※ 本 時	◆ALTに紹介したい自分の経験について、構成を考えて事実を書く。				
	○part1の教科書の英文を通して、過去の文の形・意味・用法を理解する。 ○教科書の本文を使いながらやり取りをする。 ○論理的な構成を意識して英文を書く。				
3	◆ALTに紹介したい自分の経験について、グループで共有しながら、事実や自分の考えを整理して書く。				
	○part2の教科書の英文を通して、過去の文の形・意味・用法を理解する。 ○教科書の本文を使いながらやり取りをする。 ○論理的な構成を意識して英文を書く。				
4	◆ALTに紹介したい自分の生い立ちや経験について、グループで共有しながら、事実や自分の考えを整理して書く。				
	○Read and Thinkの教科書の英文を通して、過去の文の形・意味・用法を理解する。 ○論理的な構成を確認する視点でお互いの英文を読む。				
5	◆ALTに紹介したい自分の生い立ちや経験について、正しく書く。				
	○教科書の英文を通して、過去の文の形・意味・用法を理解する。 ○英文を正しく書き直す。				
	◆ALTに自分の生い立ちや経験について、正しく書く。				

6	○場所や経験してきたことについての情報を整理し、簡単な語句や文を用いて話したり書いたりする。 ○既習の文法事項を用いて、グループで伝え合う。			<p>◎ALTに自分のことを知ってもらうために、自分の生い立ちや経験について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句を用いてまとまりのある文章を書いている。</p> <p>&lt;ワークシート分析&gt;</p> <p>◎ALTに自分のことを知ってもらうために、自分の生い立ちや経験について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。&lt;観察&gt;</p>
後日	ペーパーテスト			<p>◎一般動詞の過去形の肯定文のきまりを理解している。</p> <p>◎自分の生い立ちや経験について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句を用いてまとまりのある文章を書く技能を身につけている。</p> <p>◎ALTに自分のことを知ってもらうために、自分の生い立ちや経験について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句を用いてまとまりのある文章を書いている。</p>

## 7 本時の展開 (2/7時)

(1) 目標 ALTに紹介したい自分の生い立ちについて、構成を考えて事実を書くことができる。

### (2) 本時の展開

時間	学習活動・学習内容	・指導上の留意点
導入 1 0 分	1 ウォームアップ (1) 歌 "Live While We're Young" (2) 聞きトレ (3) BINGO Game	・英語を話しやすい雰囲気をつくる。
展開 3 5 分	2 課題の確認 本時の課題と目標を確認する。	・生徒が主体的に学習に取り組めるように、わかりやすく提示する。
	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">ALTに伝えたい自分の経験について書こう。</div> 3 読解 (1) 教科書の本文を自分で読み取る。 (2) 読み取った内容をグループで確認する。 (3) 教科書の英文のポイントを確認する。 4 作文活動 (1) 教科書の英文からモデル文を探す。 (2) モデル文を自分の言葉に変えてやり取りをする。 (3) ワークシートに英文を記入する。	<オーラルイントロダクション> ・読み取るポイントを最初に示す ・TF問題で確認する。 ・前時のもの書き足させる。  ・自分の過去を振り返って印象的な経験を書かせる。 ・例を提示したり、質問をしたりして作文を促す。

<p style="text-align: center;">ま と め  5 分</p>	<p>5 まとめ</p> <p>(1) モデルとなる生徒の英文を確認する。</p> <p>(2) 今後の取組について確認する。</p> <p>6 振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的に使われている表現を共有する。</li> <li>・構成を考えて自分の意見を書く方法について確認する。</li>   <li>・ワークシートに書かせる。</li> </ul>
---	---	--

8 備考 在籍生徒数：○人